

GLORY

GLORY REPORT

グロリーレポート

トップメッセージ

P.1

『2020中期経営計画』をスタートし
着実な一歩を踏み出しました

特集

執行役員インタビュー

P.3

長期ビジョン2028の実現に向け
新たな事業ドメインの創造へ

GLORY NOW —新製品トピックス—

P.5

会計待ち時間“0”を実現
～医療機関向け「料金後払いシステム」を開発～

P.6

会社情報

第**73**期
中間報告書

2018年4月1日から
2018年9月30日まで

グローリー株式会社

『2020中期経営計画』を スタートし 着実な一歩を 踏み出しました



代表取締役社長

尾上 宏和

● 金融市場及び流通・交通市場は好調なスタート
株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社グループは、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』の初年度として、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」を基本方針に、事業を展開してまいりました。

上半期につきましては、金融市場で、主要製品である「オープン出納システム」の販売が更新需要を捉え好調であったことに加え、流通・交通市場でも、コンビニエンスストア向け「レジつり銭機」の導入が進むなど、国内事業は好調に推移いたしました。海外では、米国において、流通市場向け「紙幣硬貨入金機」の販売は低調でありましたが、欧州において、金融市場向け「紙幣入金機」の販売は順調でありました。その結果、当上半期の連結業績は、前年同期に比べ増収増益となりました。

下半期につきましては、金融市場では、「オープン出納シス

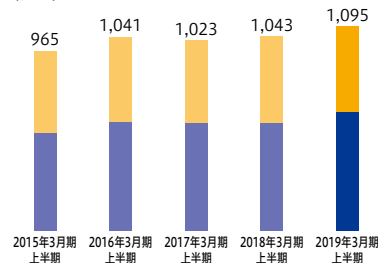
財務 ハイライト

売上高

■ 国内事業
■ 海外事業

前年
同期比 5.0%増

(億円)



テム」等の販売に注力するとともに、少人数で運営のできる店舗づくりをご提案してまいります。流通・交通市場では、引き続きコンビニエンスストア向け「レジつり銭機」の導入を進め、スーパーマーケット等に向けてはセミセルフ方式に対応した同機の販売を拡大。海外市場では、金融市場向け「紙幣入金機」及び流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」の販売を加速してまいります。

● 新事業の確立に向けた取組みを強化

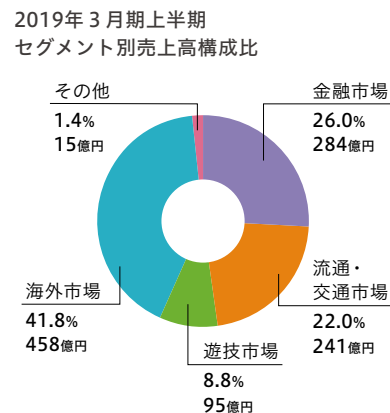
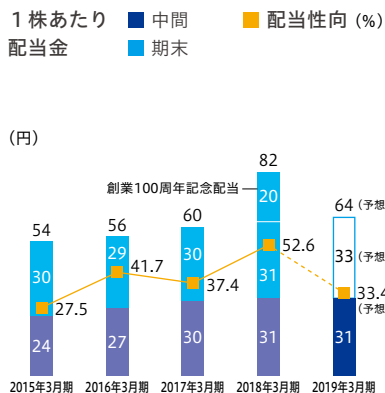
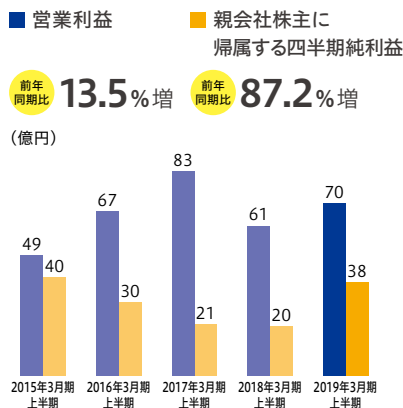
当社は、新しい取組みにも注力しております。まず、SBIホールディングス株式会社がブロックチェーン技術を用いて発行する決済用コイン「Sコイン」の実証実験に参加し、現金によって「Sコイン」をスマートフォン上のウォレットにチャージする仕組みを構築しました。現金と電子通貨の交換を行うことで、利用者のニーズを満たすことができるかを検証し、新たなサービスやソリューションの創出に活かしてまいります。

また、音声認識技術で業界をリードする株式会社フュー

レックと資本業務提携を行いました。これによるシナジー効果を早期に発揮すべく、両社の技術を組み合わせた新しいサービスの開発に着手するなど、新たなビジネスの創造に向けて邁進してまいります。

● 株主還元を充実

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけ、将来の事業展開に備えた財務体質の維持・強化を図りつつ、安定した配当を継続することを基本方針とし、連結配当性向30%以上を目標に配当を実施することとしております。上記方針に基づき、中間配当につきましては、31円とさせていただきます。なお、期末配当につきましては、当初予想より2円増額した33円(年間64円)を予定しております。また、2018年11月7日より、220万株(または60億円)を上限とする自己株式の取得を行っております。これにより、自己株式の取得は3年連続の実施となります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



執行役員インタビュー

長期ビジョン2028の実現に向け 新たな事業ドメインの創造へ

現金から非現金決済へのシフトや、AIやロボット技術の進化など、私たちを取り巻く環境は急速に進展しています。当社はこのような変化をビジネスチャンスと捉え、新しい価値を生み出す事業ドメインの創造を目指し、2018年4月にビジネスイノベーションセンター（BIC）を設立しました。センター長に就任した藤井聡子に、センター設立の背景や注力する取組みについて聞きました。



執行役員
ビジネスイノベーションセンター長
藤井 聡子

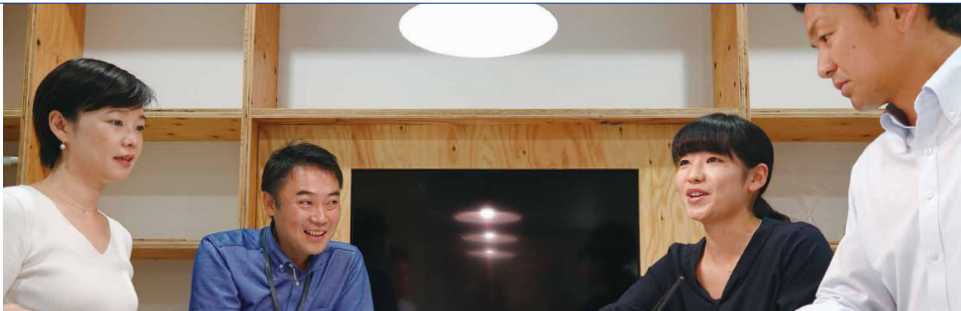
プロフィール

1986年外資系IT企業に入社、金融機関向けのソリューションや顧客接点に関するコンサルティング、グローバルソリューションパートナーとのアライアンスを担当、2017年2月に当社入社。

Q. BIC設立の背景とミッションについて お聞かせください。

BICは、その名の通り、事業に変革をもたらすことをミッションとして設立されました。現在、世界ではキャッシュレス化をはじめとするデジタルトランスフォーメーションが進展していますが、この変化を成長の機会とするには、

モノづくりの発想やプロセスを変革していく必要があります。これまでには製品ごとに開発や販売のプランを立てていましたが、今まで以上に製品をお使いになるお客さまを意識し、製品や技術を組み合わせたトータルソリューションの提供を始めています。また、グローバル市場でのキャッシュレス化の進展に合わせ、国や地域ごとに最適なビジネススキームを確立してまいります。



Q. BICの組織体制について教えてください。

BICは、開発や営業部門、長期ビジョン2028の策定に関わった社員など、30代の若手を中心とする多彩なメンバーを3つのチームに構成しました。1つ目は、オープンイノベーションに向けたアライアンスなどを推進するチーム、2つ目は拡大が見込まれる流通市場向けのトータルソリューションを開発するチーム、3つ目は新たなビジネス創出に向けて企業文化の変革を担うチームです。当社が培ってきた技術を活かしながら、より新しい価値を生み出すための企画やトライアル、戦略などを推進し、社員の意識を変える働きかけも行っています。

Q. 今後注力する取組みについて教えてください。

モノ売りからコト売りへ。製品を作って売っておしまいではなく、継続的な収益が見込めるようなサービスを創出していきます。また、社内に足りない技術を獲得すべく、2018年9月に発表した株式会社フットレックとの資本業務提携のように、最適なパートナーを探して協業するオープンイノベーションを推進しています。決済におけるラストワンマイル、つまりお客さまや生活者

に直結するところにグローリー製品が浸透していることは当社にとって大きな強みです。その強みを最大化するため、サービスやソリューションを開発する側の論理だけでなく、それを使う人にどのような価値を提供できるのかを意識し、新たなビジネスの創出に注力してまいります。



担当者の声

ビジネスイノベーションセンター
データソリューション事業企画部
営業開発グループ
矢野 真友子

私の仕事は、長期ビジョン2028で掲げる新たな事業ドメインの1つである「多様な決済手段の提供」を実現することです。BICにはさまざまな経験を積んだ人材が集まっており、オープンイノベーションを推進するのに最適な環境です。このような素晴らしい環境と新しい視点で私たちをリードするセンター長のもと、新たな事業ドメインの確立に挑戦しています。

会計待ち時間“^{ゼロ}0”を実現

～医療機関向け「料金後払いシステム」を開発～

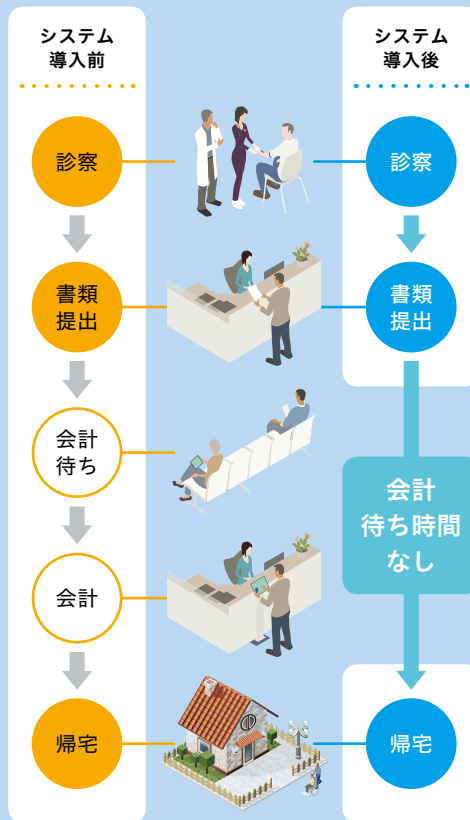
当社は、来院患者さま自身が操作して支払いをする「診療費支払機」を医療機関へ販売しております。このたび開発した「料金後払いシステム*」では、既設の「診療費支払機」と医事会計システムのインターフェースを利用し、患者さまが事前にクレジットカード情報等を登録しておくことで、診療費の“後払い”を可能にしました。診察を終えた患者さまは会計待ちをすることなく、すぐに帰宅することができます。 *特許申請中

患者さまの会計待ち時間を短縮したいという病院のご要望にお応えするため本システムを開発しました。システム利用手数料を無料化、病院における支払いの入金確認作業を自動化するなど、患者さまと病院の双方に多くのメリットのあるサービスを実現しました。今後も医療機関のベストパートナーとなれるよう、あらゆるご要望にお応えしてまいります。



担当者の声

国内事業本部
販売企画統括部
リテール販売企画二部
販売企画1グループ
種市 直文



お客様の声



医療法人財団
アドベンチスト会
東京衛生病院
医事課長

山室 靖 さま

患者さまの多くに本システムをご利用いただき、待ち時間なく帰宅できると大変喜ばれています。また病院にとっても、今まで会計処理にかけてきた時間を別の業務に充てることができるなど、業務の効率化に役立っています。

会社概要

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,465名(連結 9,155名)
本社	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL:079-297-3131(代表)
事業所	本社・本社工場 (兵庫県姫路市) 東京本部 (東京都千代田区) 品川事業所 (東京都品川区) 埼玉工場 (埼玉県加須市) 姫路物流センター(兵庫県姫路市) 支店等 9支店、39営業所、31出張所、 3サービスセンター
グループ会社	52社(うち海外39社)

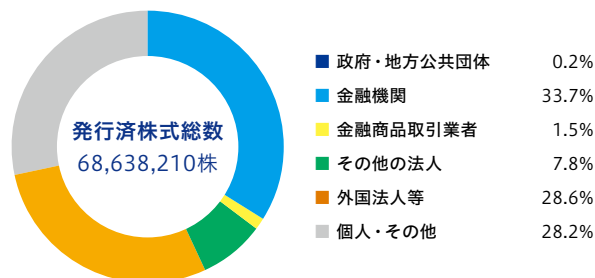
役員一覧

取締役	代表取締役社長	尾上 広和
	代表取締役副社長	三和 元純
	取締役	尾上 英雄
		馬淵 成俊
		小谷 要
	社外取締役	原田 明浩
佐々木 宏機		
井城 譲治		
監査役	常勤監査役	長島 正和
		藤田 亨
	社外監査役	中上 幹雄
		濱田 聡

株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	68,638,210株 (自己株式 5,931,235株を含む)
株主数	8,663名(前期末比 2,277名増)

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,512	3.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,360	3.4
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
グローリーグループ社員持株会	2,094	3.1
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,328	1.9
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,191	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,121	1.6
グローリー取引先持株会	1,001	1.5

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式5,931,235株があります。

株主さま向け アンケート結果のご報告

第72期「グローリーレポート」でのアンケートにご協力いただきありがとうございます。みなさまからの貴重なご意見を活かし、IR活動のさらなる充実に努めてまいります。

Q1

どの記事に
関心を

持ちましたか

(複数回答、上位3位まで)



Q2

今後充実を
希望する

情報は何ですか

(複数回答、上位3位まで)



○ 株主さまからのご意見を紹介します



キャッシュレス化へ向けた将来像が分かりやすかったです。中期経営計画の達成を期待しています。



応援ありがとうございます。当報告書などを通じて進捗をお届けしてまいります。



会社情報と株主メモの文字が小さいので大きくしてほしいです。



ご意見ありがとうございます。読みやすい誌面づくりに努めてまいります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 [公告掲載URL] http://www.glory.co.jp
株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
(各種お問合せ先/郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL: 0120-094-777(通話料無料) 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)
(ウェブサイトアドレス)	https://www.tr.mufig.jp/daikou/

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

